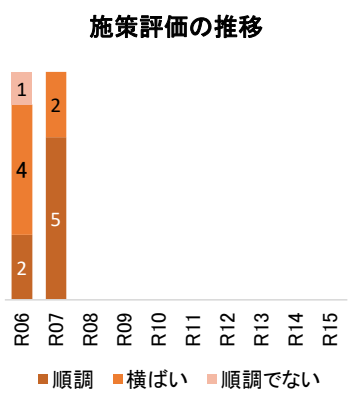
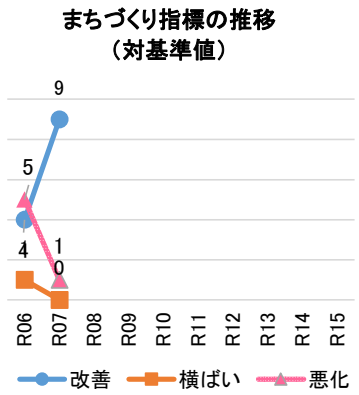
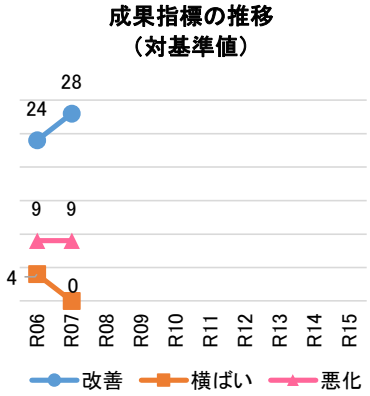
めざすまちの姿5　安心安全・都市基盤分野
～安心・安全で快適に暮らせる都市機能が充実している～

■施策評価の推移

施策名	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
防災・減災対策の推進	横ばい	順調								
消防・救急体制の充実	横ばい	横ばい								
暮らしの安全対策の推進	順調でない	横ばい								
地域特性を生かした土地利用の推進	順調	順調								
安全で快適な移動環境の整備	順調	順調								
花と緑につつまれたまちの推進	横ばい	順調								
水道水の安定供給と汚水の適切な処理の推進	横ばい	順調								







■指標の状況(対基準値)

■まちづくり指標

市民、地域、企業、行政が連携し、災害時に備えていると思う人の割合	+6.3% 向上
消防・救急体制に安心感を持っている人の割合	+2.6% 向上
交通事故に対する不安がなく、安全に生活できていると思う人の割合	+6.5% 向上
犯罪に対する不安がなく、安心して生活できていると思う人の割合	+3.4% 向上
自宅周辺が住みやすい場所(所)であると思う人の割合	+2.8% 向上
鉄道駅の概ね1km圏内の人口	+0.4% 向上
市内・市外へ円滑に移動できる環境が整っていると思う人の割合	+6.7% 向上
花や緑が豊かなまちであると思う人の割合	+3.1% 向上
水道水を安心して利用できている人の割合	-0.8% 低下
汚水処理体制に安心感を持っている人の割合	+1.9% 向上

■成果指標

改善	75.7%	横ばい	0.0%	悪化	24.3%

■関連する個別計画

地域防災計画
地域強靭化計画
津波対策計画
災害時用資機材・物資備蓄計画
公共下水道事業計画
下水道総合地震対策計画
公共下水道ストックマネジメント計画
水防計画
地域公共交通計画
交通安全計画
地域安全活動行動計画
都市計画マスタープラン
立地適正化計画
総合交通戦略
住宅マスタープラン
建築物耐震改修促進計画
公共建築物保全実施計画
空家等対策計画
マンション管理適正化推進計画
無電柱化推進計画
幹線道路網整備計画
緑の基本計画
花・水・緑の基幹軸整備基本計画
公園施設長寿命化計画
下水道事業経営戦略
水道事業ビジョン

めざすまちの姿　05　安心・安全で快適に暮らせる都市機能が充実している

分野　5　安心安全・都市基盤

施　策　16 防災・減災対策の推進

主管課：防災危機管理課

■施策の目標

地域や行政などが協力することで、防災・減災対策が進み、災害に強いまちがつくられています。

■施策の基本方針

防災対策に係る啓発活動などの実施により、市民一人ひとりの防災意識の向上を図るとともに、地域においては自主防災組織の活性化に努め、助け合いによる地域の防災力を強化することで、災害への備えを促進します。

また、避難所や備蓄物資の整備のほか、河川などの計画的な整備や日常的な維持管理などにより、防災・減災対策（強靭化）に取り組むことで、災害に強いまちづくりを進めます。

■施策実現の財源投入状況　（単位：千円）

予算	R07年度	1,638,985	対前年比	102.0%
	R06年度	1,607,189		
決算	R07年度	1,446,294	対前年比	102.1%
	R06年度	1,415,856		

■まちづくり指標の推移

市民、地域、企業、行政が連携し、災害時に備えていると思う人の割合（%）

指標NO.0022　【指標特性】上がると良い指標

基準値		57.3	(%) 80 60 40 20 0 基準 R07 R09 R11 R13 R15			基準値	
R06実績		57.2				R06実績	
R07実績		60.9				R07実績	
R08実績						R08実績	
R09実績						R09実績	
R10実績						R10実績	
めざそう値	R10	61.2				めざそう値 R10	
	R15	65.1				R15	
対基準値		改善	R15めざそう値達成率	+46.2%		対基準値	R15めざそう値達成率
対前年比		改善				対前年比	

防災危機管理課

■施策全体の評価　順調

指標動向

・まちづくり指標は、前年度より3.7ポイント、基準値より3.6ポイント上昇している。年齢別では、16～19歳で66.7%と最も高いが、65～74歳で56.2%と最も低くなっている。全体としては、20代で大きく改善している。

施策全体評価の要因分析

・まちづくり指標は基準値より改善し、単位施策は全て順調であることから、施策全体としては順調と評価する。
・市民の防災意識の高揚を図るための啓発活動に加え、自主防災組織に対する補助事業や地域防災リーダー育成事業の進展、人命救助や避難所運営に必要な資機材を取り扱う訓練など、地域と市が連携して防災活動に取り組んでいることが、災害時の備えにつながっているものと考える。
・単位施策01「日ごろから防災・減災に向けて備えている項目数」及び「災害情報の入手方法として知っている項目数」は基準値より改善しており、防災訓練や防災講演会等を通じた継続的な啓発が、防災意識の向上につながっているものと考える。
・単位施策03「災害協定締結数」は前年度から改善しており、災害協定の締結数の増加により、多様な支援体制の確保や関係機関との連携強化が進んでいるものと考える。

今後の方針

・自助や共助による実践的な防災対策を行ってもらえるように、様々な情報発信を実施しながら、防災意識高揚のための啓発を進めていくとともに、地域と関わりながら自主防災組織の活性化に努め、助け合いによる地域の防災力の強化を進めていく。

単位施策 01 **市民の防災・減災意識を向上させる**

主管課：防災危機管理課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
日ごろから防災・減災に向けて備えている項目数（項目/人）	2.3	2.4	2.7	2.6	改善
災害情報の入手方法として知っている項目数（項目/人）	1.8	2.1	2.2	2.0	改善

成果指標動向

・「日ごろから防災・減災に向けて備えている項目数」は、基準値より0.3項目改善しているが、前年度より0.1項目悪化している。年齢別では、20代が最も低く、40代以上では基準値を上回っている。
・「災害情報の入手方法として知っている項目数」は、基準値より0.2項目改善しているが、前年度より0.2項目悪化しており、ほぼ全世代で悪化している。年齢別では、20代及び30代以外の年代は、基準値以上となっている。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
09-01-04	防災対策啓発事業	428	425	
活動結果	市民の防災・減災意識の高揚を図るため、災害時に役立つ防災グッズを購入し、防災訓練や防災講演会等で配布した ・非常用トイレ　1,000個　・ホットアイマスク　600個 ・瞬間冷却パック　1,000個　・除菌ウェットティッシュ　1,800個 ・ホイッスル　600個		決算の内訳（主なもの）	
			7節	2
			10節	423
			課名	
			【防災危機管理課】	
09-01-04	防災ラジオ頒布事業	1,650	1,650	
活動結果	市民への防災情報の伝達手段の一つで、災害時緊急放送を自動受信できる緊急起動装置付防災ラジオを頒布するため購入した ・防災ラジオ　150台		決算の内訳（主なもの）	
			10節	1,650
			課名	
			【防災危機管理課】	
09-01-04	屋内地震対策費補助事業	200	117	
活動結果	住居内における地震による被害を未然に防ぐため、家具転倒防止器具及び感震ブレーカーの購入等に対して経費を補助した ・対象者　自ら居住する住宅内に当該器具の取付けを行う者 ・対象経費　器具の購入費、施工業者の設置費 ・補助率　1/2（限度額　10千円/件） ・実績　21件		決算の内訳（主なもの）	
			18節	117
			課名	
			【防災危機管理課】	
09-01-04	災害時避難行動要支援者支援事業	1,745	1,421	
活動結果	避難行動要支援者名簿を更新し、町内会・自治会及び民生委員が個別避難計画の作成・管理・活用をすることで災害時における避難行動要支援者の避難支援等を行った		決算の内訳（主なもの）	
			7節	1,321
			10節	100
			課名	
			【社会福祉課】	
09-01-04	災害医療活動人材育成事業	135	130	
活動結果	救護所活動を行う三師会や災害支援看護職活動員等を対象に、災害医療に関する知識を身に付けることや担うべき役割を理解することを目的に研修会を実施した (1)災害支援看護職活動員向け　令和7年6月30日　参加者12名 (2)救護所運営メディカルチーム向け　令和8年2月21日　参加者29名		決算の内訳（主なもの）	
			7節	65
			10節	6
			11節	57
			課名	
			【健康推進課】	

単位施策 02 **地域の防災力を強化する**

主管課：防災危機管理課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
地域防災訓練の実施割合（%）	75.0	100.0	91.7	91.7	改善

成果指標動向

・「地域防災訓練の実施割合」は、基準値より16.7ポイント改善している。市内にある12のコミュニティのうち、1コミュニティが天候不順等の理由から防災訓練を実施することができなかった。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
09-01-04	地域防災リーダー育成事業	707	707
活動結果	自主防災組織の活性化及び地域防災力の強化を図るため、災害に関する知識や防災活動の技術を習得した実践的な地域防災リーダー養成講座を開催した ・まちづくり協働推進事業(とうかい防災ボランティアネット) ・講座回数　8回 ・修了者　　18人		決算の内訳（主なもの） 12節　707 課名 【防災危機管理課】
09-01-04	市総合防災訓練事業	1,657	1,311
活動結果	広く防災意識向上のための普及啓発を行うとともに、実践的な災害活動の技術を習得するため、市民及び防災関係機関が参加する総合防災訓練を加木屋コミュニティと共催で実施した ・時期　　2025年11月22日 ・場所　　加木屋小学校 ・参加人数　29団体　532名		決算の内訳（主なもの） 10節　228 12節　1,083 課名 【防災危機管理課】
09-01-04	自主防災組織地震防災対策補助事業	6,081	4,128
活動結果	町内会・自治会等の自主防災組織が行う地震対策事業に必要な消火・救急・救護用資機材及び防災活動物品の購入等に対し補助した ・補助率　　8/10 ・補助団体数　21団体		決算の内訳（主なもの） 18節　4,128 課名 【防災危機管理課】
09-01-04	災害支援ボランティア訓練事業	185	185
活動結果	災害ボランティアセンターの設置・運営が円滑に行えるよう災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施した ・委託先　　社会福祉協議会 ・実施場所　しあわせ村		決算の内訳（主なもの） 12節　185 課名 【社会福祉課】
09-01-04	地域防災訓練事業	224	224
活動結果	防災活動を推進するため、コミュニティ単位での訓練計画に基づき、年間を通じて各地域の地域性等に応じた訓練を実施した ・実施期間　2025年 6月 7日～2026年 3月 1日 ・参加人数　16団体　1,655人		決算の内訳（主なもの） 1節　168 8節　5 10節　51 課名 【消防本部】

単位施策 03 **行政の防災・減災体制を充実させる**

主管課：防災危機管理課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
災害時に必要な物品の備蓄率（%）	91.7	91.7	93.6	96.5	改善
災害協定締結数（件）	150	166	166	178	改善

成果指標動向

・「災害時に必要な物品の備蓄率」は、基準値より4.8ポイント、前年度より2.9ポイント改善している。災害時用資機材・物資備蓄計画を基に順次、備蓄している。
・「災害協定締結数」は、基準値より28件、前年度より12件改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
09-01-04	避難所整備事業	99,892	58,969	
活動結果	災害対応に必要な資機材や防災倉庫の整備及び維持管理をするとともに、衛生環境の充実を図るため、貯留型マンホールトイレを中学校2校に整備、小中学校8校の実施設計業務委託をした ・整備工事　名和中学校、横須賀中学校 ・実施設計業務委託　上野中学校始め8校 （翌年度繰越額34,990千円）		決算の内訳（主なもの）	
			10節	2,394
			12節	13,819
			14節	41,248
			課名	
			【防災危機管理課】	
09-01-04	備蓄用物品（食糧等）整備事業	4,658	4,219	
活動結果	避難所生活で使う物品(備蓄食糧等)を避難者15,000人を想定して整備した ・アルファ化米5,500食、クラッカー2,660食、 パンの缶詰1,992食、野菜ジュース15,000本		決算の内訳（主なもの）	
			10節	4,219
			課名	
			【社会福祉課】	
09-01-04	備蓄用物品（乳児用品等）整備事業	2,226	2,031	
活動結果	災害時に被災者（乳幼児）が避難所生活で必要となる物品を更新した ・粉ミルク　缶（アレルギー用）1ケース、粉ミルク　スティック49ケース、離乳食用ベビーフード　2,592個		決算の内訳（主なもの）	
			10節	2,031
			課名	
			【幼児保育課】	
09-01-04	福祉避難所（妊産婦・乳幼児）整備事業	345	345	
活動結果	災害時に被災者(乳幼児)が避難所生活で必要となる物品の更新、及び新たに福祉避難所となった施設に必要物品を新規購入した ・液体ミルク　444本、離乳食ベビーフード　90食 ・災害用授乳カップ　150個 ・小児用オムツ、おしりふき、コンロ１式		決算の内訳（主なもの）	
			10節	345
			課名	
			【こども課】	
09-01-04	生活再建支援システム導入事業	11,600	11,042	
活動結果	南海トラフ地震等の災害発生時において、被災者支援に係る業務の電子化・システム化により、職員に対して災害時事務の効率化が図れ、一般市民（被災者）に対して行政手続きの迅速化を図った		決算の内訳（主なもの）	
			11節	3,006
			12節	4,224
			13節	2,353
			課名	
			【防災危機管理課】	

単位施策 04 浸水被害を軽減させる

主管課：土木建設課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
雨水幹線の整備率（%）	83.5	83.5	83.7	83.7	改善

成果指標動向

・「雨水幹線の整備率」は、基準値より0.2ポイント改善、前年度からは横ばいである。成果指標には表れないが、大田川第７雨水幹線整備は前年度から進捗している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
08-03-01	河川水位監視事業	5,326	5,318	
活動結果	浸水被害の軽減を図るため、河川の状況をリアルタイムで把握し、市民に対して情報を提供した ・カメラ　全6基（南柴田樋門×2、土留木橋、山東橋、木庭中橋、順見橋） ・水位計　全4基（土留木橋、山東橋、木庭中橋、順見橋） ・雨量計　全2基（緑陽コミュニティセンター、三ツ池市民館）		決算の内訳（主なもの）	
			10節	90
			11節	18
			13節	5,210
			課名	
			【土木建設課】	
08-03-01	河川台帳改訂事業	7,810	7,810	
活動結果	適切な河川の維持管理及び災害時に速やかな復旧計画が立てられるよう、河川法に基づく台帳の改訂を実施した ・場所　準用河川大田川、準用河川土留木川 ・内容　河川台帳図作成、河川現地調査、調書作成		決算の内訳（主なもの）	
			12節	7,810
			課名	
			【土木維持課】	
08-03-02	浸水対策用ため池活用検討事業	10,940	9,763	
活動結果	浸水被害の軽減を図るために、既存のため池を雨水貯留施設として活用することの検討を行った ・対象ため池　農業用ため池22か所 ・対象降雨　　83.5mm/h（東海市の浸水対策目標降雨）		決算の内訳（主なもの）	
			18節	9,763
			課名	
			【土木建設課】	
08-04-01	下水道事業会計雨水処理負担金	1,080,300	1,050,085	
活動結果	下水道事業の雨水処理に要する経費を負担した ・維持管理費分　363,146千円 ・企業債利息分　78,401千円 ・減価償却費分　608,538千円		決算の内訳（主なもの）	
			18節	1,050,085
			課名	
			【都市計画課】	
09-01-03	水防訓練実施事業	645	620	
活動結果	水防体制の強化及び水防技術の向上のため、水防関係各機関の協力を得て総合的な水防訓練を実施した ・実施日　2025年 6月15日　東海市役所庁舎東側駐車場 ・参加者　東海市防災活動事業者協会38人、市職員52人、消防職員32人、消防団43人、防火協力会10人、大田川流域浸水対策協議会9人、大田コミュニティ24人		決算の内訳（主なもの）	
			7節	97
			12節	324
			15節	168
			課名	
			【土木維持課】	

めざすまちの姿　05　安心・安全で快適に暮らせる都市機能が充実している

分野　5　安心安全・都市基盤

施　策　17 消防・救急体制の充実

主管課：消防本部

■施策の目標

消防・救急体制が整い、市民の生命と財産が守られています。

■施策の基本方針

火災などの災害から市民の生命と財産を守るため、住宅への火災対策と防火対象物への立入検査により防火対策を推進するとともに、消防施設の整備と消防職員・消防団員の資質向上により消防・救助体制を強化します。

また、病気やけがから市民を守るため、救急体制の拡充を図るとともに、市民の救命意識の向上と適切な救急車利用の促進により、救急・救命体制を強化します。

■施策実現の財源投入状況　（単位：千円）

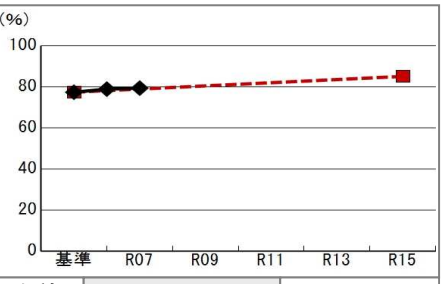
予算	R07年度	802,538	対前年比　139.9%	決算	R07年度	672,082	対前年比　163.0%
	R06年度	573,555			R06年度	412,241	

■まちづくり指標の推移

消防・救急体制に安心感を持っている人の割合（%）

指標NO.0023　【指標特性】上がると良い指標

基準値		77.3		基準値			
R06実績		78.8		R06実績			
R07実績		79.3		R07実績			
R08実績				R08実績			
R09実績				R09実績			
R10実績				R10実績			
めざそう値	R10	81.2		めざそう値	R10		
	R15	85			R15		
対基準値		改善	R15めざそう値達成率	対基準値			R15めざそう値達成率
対前年比		改善	+26.0%	対前年比			



消防本部

■施策全体の評価　横ばい

指標動向

・まちづくり指標は基準値より2.0ポイント、前年度より0.5ポイント改善している。
・年齢別では20代、30代、50代からの評価が高い傾向にあるが、10代からの評価が前年度に比べ9.6ポイント低下している。
・学区別では緑陽、渡内、大田、三ツ池等からの評価が高く、加木屋南、富木島、名和の評価が低い状況となっている。

施策全体評価の要因分析

・まちづくり指標は基準値より改善しているものの、単位施策01「防火対策を推進する」は順調、02「消防・救助体制を強化する」は順調ではない、03「救急・救命体制を強化する」は横ばいとなっており、これらを踏まえて施策全体としては横ばいと評価する。
・SNS等を活用した魅力発信や日勤救急隊による改善など、消防・救急体制の充実が市民の安心感の向上につながり、まちづくり指標の改善に寄与したものと考える。
・高齢化や若者のライフスタイルの変化による担い手不足に加え、講習による時間的拘束を避ける社会環境などを背景に、単位施策02の「消防団員充足率」や、単位施策03の「救命講習の参加者数」が低下したものと考える。

今後の方針

・若年層の消防・防災に対する理解や関心を高めるため、SNS等を活用した情報発信を工夫するとともに、広報やイベントを通じて消防の魅力を広く発信していく。
・高齢化に伴う救急需要の増加に対応するため、救急隊の常時5隊運用に向けた、救急救命士の育成及び消防職員の増員を計画的に進めていくとともに、市域全体の消防力強化に向けて、課題の整理を行い、あり方や推進項目を定める「消防力強化ビジョン」の策定も進めていく。

単位施策 01 **防火対策を推進する**

主管課：消防本部

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
高齢者世帯への防火指導実施率（%）	97.9	98.2	99.1	98.2	改善
防火対象物への立入検査実施率（%）	49.4	100.9	70.4	89.3	改善

成果指標動向

・「防火指導実施率」は、基準値より0.3ポイント改善しているもの、前年度より0.9ポイント低下している。
・「立入検査実施率」では、基準値より39.9ポイント改善し、前年度よりも18.9ポイント改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
09-01-01	火災予防啓発事業	4,259	3,854	
活動結果	住宅防火診断等を行い、火災予防を広く市民に啓発した ・住宅防火診断対象地区　緑陽小学校区域 富木島小学校区域 ・時期　2025年4月～2026年3月 ・訪問世帯　1461世帯（676世帯、785世帯）		決算の内訳（主なもの）	
			1節	1,964
			3節	510
			7節	816
			課名	
			【消防本部】	
09-01-01	耐震性貯水槽整備事業	104,843	0	
活動結果	新駅周辺整備事業、名和駅西土地区画整理事業等に伴い、耐震性貯水槽新設工事を実施し、一部を翌年度に繰越した ・新設場所　加木屋中ノ池駅周辺　40㎥　2基 名和駅西周辺　40㎥　2基 太田川駅西周辺　60㎥　1基 （翌年度繰越額　104,843千円）		決算の内訳（主なもの）	
			課名	
			【消防本部】	
09-01-01	消防水利維持管理経費	72,233	72,104	
活動結果	設置から40年以上経過した消火栓の部品交換修理を行い、消防水利を適切に維持管理した ・市内　34箇所		決算の内訳（主なもの）	
			12節	720
			13節	1,695
			18節	69,033
			課名	
			【消防本部】	
09-01-01	消火栓整備事業	19,731	5,354	
活動結果	消防水利の充実を図るため、消火栓の新設及び改良を行った ・新設場所　荒尾町恵毛地内　1箇所 ・改良場所　加木屋町唐畑地内　1箇所 加木屋町西平子地内始め5箇所は翌年度に繰越した （翌年度繰越額　14,377千円）		決算の内訳（主なもの）	
			18節	5,354
			課名	
			【消防本部】	
09-01-01	泡消火薬剤購入事業	4,782	4,782	
活動結果	石油コンビナート災害に備えるため、泡消火薬剤を購入及び廃棄した ・3%型たん白泡消火薬剤　500L　購入 ・合成界面活性剤泡消火薬剤　11,400L　廃棄		決算の内訳（主なもの）	
			10節	2,860
			11節	1,922
			課名	
			【消防本部】	

単位施策 02 消防・救助体制を強化する

主管課：消防本部

評価
順調でない

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
住宅火災における火災現場到着から放水開始までの時間（秒/件・年）	197	0	120	160	改善
消防団員充足率（%）	93.9	88.9	86.8	84.8	悪化

成果指標動向

・「住宅火災における火災現場到着から放水開始までの時間」は、基準値から37秒改善したが、前年度より40秒低下している。
・「消防団員充足率」は、基準値よりも9.1ポイント低下しており、前年度よりも2.0ポイント低下している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
09-01-01	消防・救助活動事業	5,566	5,546	
活動結果	迅速かつ適切な消防・救助活動を行い、市民の生命及び財産を守るため、災害現場において必要な資機材を整備した ・消防用ホース　54本 ・防火衣　5着		決算の内訳（主なもの）	
			10節	783
			11節	558
			17節	4,205
			課名	
			【消防本部】	
09-01-01	消防職員教育研修事業	3,580	3,492	
活動結果	複雑多様化する災害に的確に対処できる職員を育成するため、消防学校等で研修した ・対象者　14人 （消防大学校2人、県消防学校12人）		決算の内訳（主なもの）	
			8節	1,781
			10節	861
			18節	725
			課名	
			【消防本部】	
09-01-01	消防車両購入事業	144,326	144,266	
活動結果	消防力を強化し、消防体制の万全を期するため、消防車両を購入した ・水槽付き消防ポンプ自動車　1台(北出張所) ・化学消防ポンプ自動車　1台(本署) ・水防車　1台(本署)		決算の内訳（主なもの）	
			11節	365
			17節	143,610
			26節	221
			課名	
			【消防本部】	
09-01-01	無人航空機購入事業	2,945	2,911	
活動結果	災害現場等における現場の様子を映像等で明確に記録する重要な役割を果たす無人航空機を購入し、操縦者を養成した ・無人航空機　2機 ・操縦者技能証明の取得　2人 ・操縦者技能証明取得者による操縦者の養成　6人		決算の内訳（主なもの）	
			11節	134
			17節	2,253
			18節	520
			課名	
			【消防本部】	
09-01-02	消防団装備購入事業	5,204	4,978	
活動結果	消防団を中核とした地域防災力の充実強化を図るため、防寒服および防火衣を購入した ・防寒服　168着 ・防火衣　16着		決算の内訳（主なもの）	
			10節	1,257
			17節	3,721
			課名	
			【消防本部】	

単位施策 03 **救急・救命体制を強化する**

主管課：消防本部

評価
横ばい

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
救急隊現場到着時間（秒/件・年）	396	370	371	369	改善
救急救命士充足率（%）	80.0	90.0	80.0	96.7	改善
救命講習の参加者数（人/年）	687	683	726	671	悪化

成果指標動向

・「救急隊現場到着時間」は、基準値から27秒短縮し、前年度から2秒短縮している。
・「救急救命士充足率」は、基準値から16.7ポイント上昇し、前年度からも16.7ポイント上昇している。
・「救命講習の参加者数」は、基準値から16人から減少し、前年度から55人減少している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
09-01-01	救急活動事業	9,043	8,772	
活動結果	救急事案に対応し、高度な救急活動を実施するため、救急措置に必要な資器材を整備したとともに、医療機関との連携を強化した ・救急活動に必要な消耗品 ・救急救命事後検証委託　97件 ・救急救命処置指示委託　124件		決算の内訳（主なもの）	
			10節	6,946
			11節	436
			12節	986
			課名	
			【消防本部】	
09-01-01	救急救命士等育成事業	8,822	8,799	
活動結果	救急救命士や救急隊員の知識と技術を向上させるため、救急研修に職員を派遣した ・救急救命士養成研修　2人 ・救急救命士再教育病院実習　27人 ・救急救命士気管挿管再教育病院実習　2人 ・救急隊員病院実習等　1人		決算の内訳（主なもの）	
			8節	2,199
			12節	1,563
			18節	3,704
			課名	
			【消防本部】	
09-01-01	救命講習普及啓発事業	28	28	
活動結果	市民の救命技能の向上を図るため、心肺蘇生やＡＥＤの使用方法を救命講習を通じて市民に周知した ・上級救命講習　4回開催 参加者　80人 ・普通救命講習　35回開催 参加者　591人 ・一般救命講習　78回開催 参加者　2,050人		決算の内訳（主なもの）	
			10節	28
			課名	
			【消防本部】	
09-01-01	高規格救急自動車購入事業（繰越明許費）	101,024	101,024	
活動結果	消防力を強化し、消防体制の万全を期するため、救急車両を購入した。 ・高規格救急自動車2台（消防署・南出張所） （前年度繰越額　101,024千円）		決算の内訳（主なもの）	
			17節	101,024
			課名	
			【消防本部】	
09-01-01	高規格救急自動車購入事業	3,061	3,049	
活動結果	購入した高規格救急自動車2台にブラインド型車両搭載情報板を整備等した		決算の内訳（主なもの）	
			11節	200
			17節	2,783
			26節	66
			課名	
			【消防本部】	

めざすまちの姿　05　安心・安全で快適に暮らせる都市機能が充実している

分野　5　安心安全・都市基盤

施　策　18 暮らしの安全対策の推進

主管課：交通防犯課

■施策の目標

市民や関係機関などが、一体となって交通安全や防犯対策に取り組み、安全なまちになっています。

■施策の基本方針

交通安全教育やパトロールなどを実施するとともに、カーブミラーをはじめとする交通安全施設などの整備により、交通安全意識と道路の安全性の向上を推進します。

また、警察などの関係機関や各種団体、地域と連携し、交通安全・防犯意識高揚に向けた広報・啓発活動を推進するとともに、消費生活に関するトラブル解消のための相談支援体制を充実させ、安心して暮らせるまちづくりを推進します。

■施策実現の財源投入状況　（単位：千円）

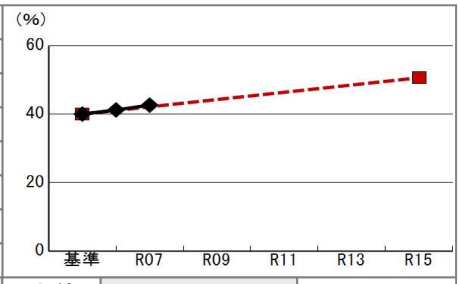
予算	R07年度	172,082	対前年比　117.3%	決算	R07年度	165,331	対前年比　117.1%
	R06年度	146,719			R06年度	141,212	

■まちづくり指標の推移

交通事故に対する不安がなく、安全に生活できていると思う人の割合（%）

指標NO.0024　【指標特性】上がると良い指標

基準値		40.0
R06実績		41.2
R07実績		42.6
R08実績		
R09実績		
R10実績		
めざそう値	R10	45.3
	R15	50.6
対基準値	改善	R15めざそう値達成率	+24.5%
対前年比	改善		

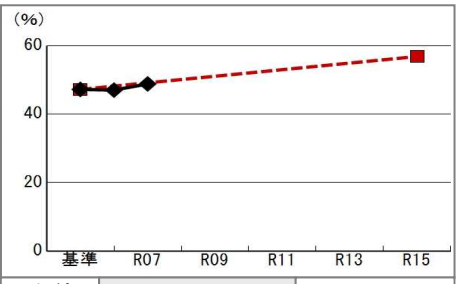


交通防犯課

犯罪に対する不安がなく、安心して生活できていると思う人の割合（%）

指標NO.0025　【指標特性】上がると良い指標

基準値		47.2
R06実績		47.0
R07実績		48.8
R08実績		
R09実績		
R10実績		
めざそう値	R10	52
	R15	56.8
対基準値	改善	R15めざそう値達成率	+16.7%
対前年比	改善		



交通防犯課

■施策全体の評価　横ばい

指標動向

・「交通事故に対する不安がなく、安全に生活できていると思う人の割合」は基準値より2.6ポイント、前年度より1.4ポイント改善している。年齢別では30～39歳、60～64歳を除いた年代で基準値を、16～19歳、60～74歳を除いた年代で前年度を上回っている。

・「犯罪に対する不安がなく、安心して生活できていると思う人の割合」は基準値より1.6ポイント、前年度より1.8ポイント改善している。年代別では一部差異はあるものの、40歳以上の年代で基準値及び前年度を上回っている。

施策全体評価の要因分析

・まちづくり指標は基準値から改善しているが、単位施策01「市内における人身事故発生件数」や単位施策03「市内における犯罪発生件数」は順調でないため、施策全体として横ばいと評価する。

・道路照明灯の改修工事や交通安全施設（路面標示、通学路標識、カーブミラー等）の修繕・整備を適切に進めていることが、単位施策02の「ガードレールやカーブミラーなどの安全対策が整っていると思う人の割合」及び「交通事故に対する不安がなく、安全に生活できていると思う人の割合」の改善につながったものと考える。

・単位施策03「市内における犯罪発生件数」は基準値及び前年度より悪化したが、日々のパトロールや啓発活動、防犯用具等の補助金の周知などの積み重ねが安心な暮らしの実感を高め、「犯罪に対する不安がなく、安心して生活できていると思う人の割合」の改善につながったものと考える。

今後の方針

・今後も、道交法の改正や市内で発生する事故の傾向などを踏まえながら交通事故の防止と交通環境の改善に向けた取組を推進するとともに、全国的に深刻化・多様化する犯罪を未然に防止するため、警察や地域と一層連携しながら、啓発活動、防犯対策の強化、交通安全教育の推進、交通安全施設及び防犯施設等の整備充実に取り組む必要がある。

・消費生活に関しては、消費者相談内容を分析し、消費トラブルの傾向を踏まえた効果的な情報発信・啓発を進める必要がある。

単位施策 01 **交通安全意識を向上させる**

主管課：交通防犯課

評価
順調でない

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
市内における人身事故発生件数（件/年）	256	300	268	284	悪化

成果指標動向

・「市内における人身事故発生件数」は、基準値から28件（10.9%）、前年度より16件（6.0%）悪化している。前年度比の内訳としては、死亡が2件増加、重症が2件減少、軽傷が16件増加している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
02-01-13	交通安全パトロール事業	5,077	4,888	
活動結果	交通事故を減少させるため、地域安全指導員を採用し、地域安全パトロール車で交通安全パトロールを行い、市内危険箇所の巡回や啓発を実施した ・地域安全指導員 4人(うち交通安全1人)		決算の内訳（主なもの）	
			1節	2,831
			3節	946
			4節	580
			課名	
			【交通防犯課】	
02-01-13	交通安全教育事業	14,541	12,479	
活動結果	児童の登下校時における交通事故防止及び市民の交通安全を図るため、小学校区に交通指導員を配置した ・交通指導員 13人 （小学校区各1人、全域担当1人）		決算の内訳（主なもの）	
			1節	11,326
			8節	388
			10節	765
			課名	
			【交通防犯課】	
02-01-13	交通安全啓発事業	3,208	3,185	
活動結果	交通事故による犠牲者を減らすため、家庭、学校、地域、事業所及び警察と連携した啓発等を実施した ・四季の交通安全週間 4回/年		決算の内訳（主なもの）	
			10節	3,185
			課名	
			【交通防犯課】	
02-01-13	運転免許証自主返納支援事業	320	163	
活動結果	交通事故を減少させるため、有効期限内の運転免許証を自主返納した高齢者等を対象とし、循環バスの特別乗車証(75歳以上の高齢者にはタクシーチケット)を配布した ・運転免許証自主返納件数 238件 ・内訳 特別乗車証 57件 タクシー券 181件		決算の内訳（主なもの）	
			7節	163
			課名	
			【交通防犯課】	
02-01-13	自転車乗車用ヘルメット購入費補助事業	2,000	1,206	
活動結果	自転車による交通事故被害の軽減を図るため、「自転車乗車用ヘルメット」の購入費用に対して補助した ・補助率 1/2以内(限度額2,000円) ・対象者 小学生以上 ・実績 小中高校生 422人 大人 203人 計 625人		決算の内訳（主なもの）	
			18節	1,206
			課名	
			【交通防犯課】	

単位施策 02 **道路の安全性を向上させる**

主管課：交通防犯課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
ガードレールやカーブミラーなどの安全対策が整っていると思う人の割合（%）	50.0	47.7	49.9	52.4	改善

成果指標動向

・「ガードレールやカーブミラーなどの安全対策が整っていると思う人の割合」は、基準値から2.4ポイント、前年度より2.5ポイント改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
02-01-13	道路反射鏡等整備事業	8,394	8,394	
活動結果	道路反射鏡等の交通安全施設を設置した ・道路標示(外側線、停止指導線) 757.7m ・道路反射鏡 13基		決算の内訳（主なもの）	
			14節	8,394
			課名	
			【交通防犯課】	
02-01-13	道路照明灯改修事業	15,155	14,888	
活動結果	老朽化した道路照明灯を撤去・改修した ・対象　38基(南柴田町1基、名和町5基、荒尾町12基、東海町1基、富貴ノ台1基、中央町5基、大田町5基、富木島町3基、高横須賀町2基、養父町1基、元浜町1基、加木屋町1基)		決算の内訳（主なもの）	
			14節	14,888
			課名	
			【交通防犯課】	

単位施策 03 **防犯対策を推進する**

主管課：交通防犯課

評価
順調でない

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
市内における犯罪発生件数（件/年）	440	476	647	695	悪化

成果指標動向

・「市内における犯罪発生件数」は、基準値より255件、前年度より48件悪化している。前年度比の内訳としては、重点罪種が13件減少、重点犯罪以外の刑法犯が61件増加しており、重点罪種の内訳としては、住宅対象の侵入盗が6件増加、その他の侵入盗が12件増加、自動車盗が1件増加、自転車盗が27件減少、特殊詐欺が5件減少している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
02-01-14	青色防犯パトロール活動支援事業	200	140

活動結果：
青色防犯パトロール活動を支援するため、交付金を支給した
・対象者　防犯ボランティア登録団体
・対象経費　青色防犯パトロールの活動経費
・実績　4団体7車両
・交付額　1車両2万円(限度額)

決算の内訳（主なもの）

18節	140

課名：【交通防犯課】

02-01-14	防犯カメラ設置事業	6,640	5,696

活動結果：
犯罪発生を抑止するための防犯カメラを設置及び更新した
・設置箇所　2台(加木屋中ノ池駅2台)
・更新箇所　15台(緑陽コミュニティ1台、平洲コミュニティ2台、横須賀コミュニティ3台、加木屋コミュニティ4台、三ツ池コミュニティ3台、加木屋南コミュニティ2台)

決算の内訳（主なもの）

10節	45
11節	5,651

課名：【交通防犯課】

02-01-14	高齢者特殊詐欺等被害防止対策機器購入費補助事業	889	889

活動結果：
高齢者世帯の特殊詐欺等被害防止対策のため、「迷惑電話防止機器」の購入費用に対して補助した
・補助率　1/2以内(限度額6,000円)
・対象者　65歳以上の者が居住する世帯
・実績　計 155件

決算の内訳（主なもの）

18節	889

課名：【交通防犯課】

02-01-14	防犯用具購入費補助事業	5,300	5,120

活動結果：
犯罪抑止力強化のため、「防犯対策用具」等の購入費用に対して補助した
・補助率　1/2以内(限度額16,000円)
・対象者　市内に住所を有する世帯
・実績　計 364件

決算の内訳（主なもの）

18節	5,120

課名：【交通防犯課】

02-01-14	犯罪被害者等支援事業	425	25

活動結果：
犯罪被害者等が受けた経済的負担の軽減を図るため、犯罪被害者等に対して給付金を支給した
・給付額　遺族支援金　30万円
　重傷病支援金　10万円
　精神療養支援金　2万5千円
・実績　計 1件(精神療養支援金)

決算の内訳（主なもの）

18節	25

課名：【交通防犯課】

単位施策 04 安全な消費生活を支援する

主管課：商工労政課

評価
横ばい

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
消費生活に関するトラブルへの対応策を知っている人の割合（%）	52.4	58.5	60.1	51.3	悪化

成果指標動向

・「消費生活に関するトラブルへの対応策を知っている人の割合」は基準値に比べ1.1ポイント、前年度に比べ8.8ポイント低下している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
04-01-01	食品衛生活動補助事業	100	100	
活動結果	飲食に起因する伝染病、食中毒による被害発生を防ぎ、食品の品質その他食品衛生の向上を図るため、愛知県食品衛生協会知多支部に対し補助を実施した ・補助対象　食品衛生指導員による巡回指導、研修会、のぼり旗等 ・補助率　定額		決算の内訳（主なもの）	
			18節	100
			課名	
			【生活環境課】	
07-01-06	商品量目検査事業	48	39	
活動結果	食料品等生活必需品の正量取引を確保し、消費者保護と商取引の円滑化を図るため、計量取引商品の量目不足をチェックする量目試買検査を行った ・検査補助員　延8人 ・検査実施店舗　8店舗 ・検査実施品目　44品目		決算の内訳（主なもの）	
			7節	20
			10節	19
			課名	
			【商工労政課】	
07-01-06	消費者広場開催事業	1,300	1,296	
活動結果	消費生活に関する情報提供を充実させ、消費者問題に対する意識の向上を図るため、東海秋まつりに合わせ消費者広場を開催した ・開催時期　2025年11月 1日、2日 ・場所　勤労センター ・内容　各種啓発展示、消費者クイズ、消費生活センターＰＲ		決算の内訳（主なもの）	
			12節	1,296
			課名	
			【商工労政課】	
07-01-06	消費生活講座開催事業	32	32	
活動結果	悪徳商法による被害防止を図るため、消費生活講座を実施した ・対象　若者、高齢者 ・回数　出前講座 年3回 （2025年5月15日、6月19日、 2月6日） ・参加者数　256人		決算の内訳（主なもの）	
			7節	21
			8節	11
			課名	
			【商工労政課】	
07-01-06	消費生活センター運営事業	2,514	2,245	
活動結果	東海市消費生活センターを運営し、消費生活相談員による消費者被害の相談体制を確保した ・相談員　6人 ・相談日　週4回(月～木曜日)10:00～12:00、13:00～16:00 ・場 所　市役所市民相談室 ・相談件数　336件		決算の内訳（主なもの）	
			1節	1,815
			8節	214
			17節	149
			課名	
			【商工労政課】	

めざすまちの姿　05　安心・安全で快適に暮らせる都市機能が充実している

分野　5　安心安全・都市基盤

施　策　19 地域特性を生かした土地利用の推進

主管課：都市計画課

■施策の目標

土地利用構想に基づき、適正に区分けされた土地利用がされています。

■施策の基本方針

住宅地、農地、商業地、工業地などにおける適正な土地利用と、歴史・文化資源などの地域特性を生かしたまちづくりを推進するとともに、鉄道駅を中心に、土地区画整理事業や民間開発事業などにより、魅力的な市街地を整備します。

また、住宅における耐震性などの品質確保を推進し、市民の土地建物の適切な維持管理を促します。

■施策実現の財源投入状況　（単位：千円）

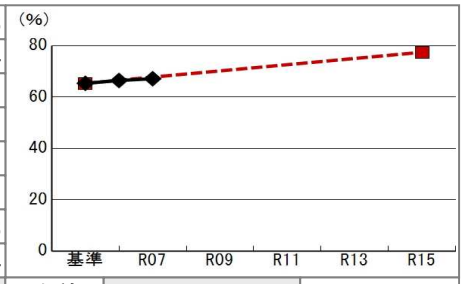
予算	R07年度	4,307,410	対前年比　289.0%
	R06年度	1,490,521	
決算	R07年度	3,434,073	対前年比　360.7%
	R06年度	952,093	

■まちづくり指標の推移

自宅周辺が住みやすい場所（所）であると思う人の割合（%）

指標NO.0026　【指標特性】上がると良い指標

基準値		65.3
R06実績		66.4
R07実績		67.1
R08実績		
R09実績		
R10実績		
めざそう値	R10	71.3
	R15	77.4



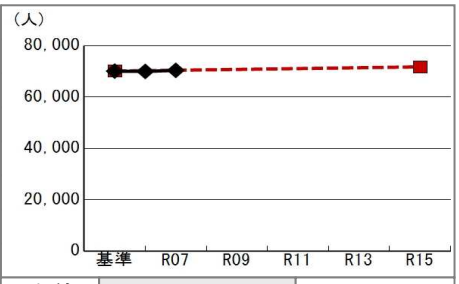
対基準値	改善	R15めざそう値達成率	+14.9%
対前年比	改善		

都市計画課

鉄道駅の概ね1km圏内の人口（人）

指標NO.0027　【指標特性】上がると良い指標

基準値		70,055
R06実績		69,938
R07実績		70,350
R08実績		
R09実績		
R10実績		
めざそう値	R10	70,900
	R15	71,700



対基準値	改善	R15めざそう値達成率	+17.9%
対前年比	改善		

都市計画課

■施策全体の評価　順調

指標動向

・「自宅周辺が住みやすい場所（所）であると思う人の割合」は、基準値より1.8ポイント、前年度より0.7ポイント改善している。学区別では、大田、三ツ池学区で全体よりも10ポイント程度高く、名和、明倫学区では、10ポイント程度低くなっている。

・「鉄道駅の概ね１km圏内の人口」は、基準値より295人、前年度より412人改善している。

施策全体評価の要因分析

・単位施策の成果動向は横ばい傾向ではあるものの、まちづくり指標の「自宅周辺が住みやすい場所（所）であると思う人の割合」、「鉄道駅の概ね１km圏内の人口」の２指標が共に改善していることから、施策全体としては順調と評価する。

・「自宅周辺の住みやすさ」は、土地区画整理事業により住宅地の整備と合わせて公共施設や商業施設の整備を進めた地区、また、過去の土地区画整理事業等により住宅地を整備した地区で高くなっており、地域特性を生かした土地の有効活用が継続的に進められていることが影響していると考える。

・「鉄道駅周辺人口」は、鉄道駅周辺の民間開発等により居住環境の整備が進み、居住地としての魅力が高まっていることが影響しているものと考える。

今後の方針

・住宅地、農地、商業地、工業地などにおける適正な土地利用及び歴史・文化資源などの地域特性を生かしたまちづくりを推進していく。

・鉄道駅を中心とした土地区画整理事業（名和駅西、太田川駅西、加木屋中部）により、魅力的な市街地を整備する。

・市民が所有する建物について、耐震化・減災化のための取り組みを支援するとともに、空き家発生抑制や利活用の啓発を行う。

単位施策 01 **良好な都市空間を形成する**

主管課：都市計画課

評価
横ばい

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
住居、農地、店舗、工場などが整然としていると思う人の割合（%）	67.0	66.3	67.0	69.5	改善
住環境が整備され、快適な生活が確保されていると思う人の割合（%）	67.1	69.7	68.6	67.9	改善

成果指標動向

・「住居などが整然としていると思う人の割合」は、基準値及び前年度よりも改善している。年齢別では、20歳～29歳が全体よりも10.0ポイント以上高く、60歳～74歳が全体よりも10.0ポイント以上低い。学区別では大田学区が10.0ポイント以上高く、名和学区が10.0ポイント程度低い。
・「住環境が整備され、快適な生活が確保されていると思う人の割合」は、基準値より0.8ポイント改善しているが、前年度よりも低下している。年齢別では、20歳～29歳が全体よりも10.0ポイント以上高く、60歳～74歳が全体よりも10.0ポイント程度低い。学区別では三ツ池学区が10.0ポイント以上高く、明倫学区が10.0ポイント以上低い。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
08-04-01	生産緑地管理事業	524	224	
活動結果	生産緑地地区の都市計画変更に伴う標識の撤去等を実施した ・撤去及び処分　6箇所		決算の内訳（主なもの）	
			11節	224
			課名	
			【都市計画課】	
08-04-01	屋外広告物許可事業	5,637	5,433	
活動結果	屋外広告物設置の新規許可申請及び変更、更新許可申請の設置許可事務並びに違反広告物(はり札、立看板等)の簡易除去等を実施するとともに、屋外広告物データ管理のため、新システムを導入した		決算の内訳（主なもの）	
			1節	1,135
			8節	19
			12節	4,279
			課名	
			【都市計画課】	
08-04-01	社会資本総合整備計画等効果分析事業	6,688	6,688	
活動結果	社会資本総合整備計画等の事業効果分析を実施した ・社会資本総合整備計画　フォローアップ ・都市再生整備計画 　保健医療福祉拠点周辺地区　フォローアップ 　文化交流地区　中間評価		決算の内訳（主なもの）	
			12節	6,688
			課名	
			【都市計画課】	
08-04-01	都市拠点教育文化施設整備費補助事業	1,368,630	893,780	
活動結果	立地適正化計画に基づき、都市拠点都市機能誘導区域において、誘導施設である大学が実施する機能維持・充実に係る整備費用等に対して補助した ・対象施設　　大学 ・補助対象経費　用地取得費・専有部整備費 （翌年度繰越額　474,850千円）		決算の内訳（主なもの）	
			18節	893,780
			課名	
			【企画政策課】	
08-04-01	名和駅西地区地籍調査事業（繰越明許費）	20,888	20,866	
活動結果	対象地区の公共事業の円滑化、権利関係の明確化のため、地籍調査を実施した ・場所　名和町二番割下始め3地内(名和駅北西第2地区) ・地籍調査(D～F、FR工程)　A=0.09k㎡ (前年度繰越額　20,888千円)		決算の内訳（主なもの）	
			12節	20,866
			課名	
			【土木維持課】	

単位施策 02 **魅力的な市街地を整備する**

主管課：市街地整備課

評価
横ばい

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
土地区画整理事業施行区域内人口（人）	29,442	29,405	29,230	29,292	悪化
土地区画整理事業施行区域内の土地の有効利用率（%）	72.5	85.8	84.6	89.8	改善

成果指標動向

・「土地区画整理事業施行区域内人口」は、基準値から150人（0.5%）低下しているが、前年度からは62人（0.2%）改善している。
・「土地区画整理事業施行区域内の土地の有効利用率」は、基準値から17.3ポイント、前年度からは5.2ポイント改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
08-02-03	加木屋中部地区地区外道路等整備事業	34,462	14,346

活動結果

加木屋中部土地区画整理事業に合わせて、道路改良工事を実施した
場所　加木屋町辻ケ花始め３地内
工期　2025. 7.11～2026. 6.30
（翌年度繰越額　18,714千円）

決算の内訳（主なもの）	
14節	14,346
課名	
【市街地整備課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
08-04-01	太田川駅東地区都市再構築型優良建築物等整備費補助事業	287,525	287,525

活動結果

本市の立地適正化計画で定める都市拠点都市機能誘導区域である太田川駅東地区において、誘導施設である病院が実施する維持・充実を図るための建替えに対して補助金を支給した
・施行区域　大田町後田
・施行期間　2022年度～2026年度

決算の内訳（主なもの）	
18節	287,525
課名	
【市街地整備課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
08-04-02	太田川駅西土地区画整理事業	367,605	363,347

活動結果

太田川駅西地区において、土地区画整理事業の推進を図るため、運営費等の補助金及び交付金を支給した
・施行区域　大田町後浜新田、川南新田及び下浜田の各一部
・施行期間　2020年度～2029年度
・施行面積　約34.4ha

決算の内訳（主なもの）	
18節	363,347
課名	
【市街地整備課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
08-04-02	名和駅西土地区画整理事業	24,000	23,962

活動結果

名和駅西地区において、土地区画整理事業の推進を図るため、運営費等の補助金を支給した
・施行区域　名和町四番割、五番割、汐田西の一部
・施行期間　2022年度～2028年度
・施行面積　約8.0ha

決算の内訳（主なもの）	
18節	23,962
課名	
【市街地整備課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
08-04-02	加木屋中部土地区画整理事業特別会計繰出金	1,155,076	825,951

活動結果

加木屋中部土地区画整理事業特別会計決算
歳入　1,723,936千円、歳出　1,545,515千円
（翌年度繰越額　173,000千円）
・主な内容　道路・排水路等整備（翌年度繰越額　222,668千円）
（継続費翌年度繰越額　168,700千円）、
物件移転補償（翌年度繰越額　88,098千円）

決算の内訳（主なもの）	
27節	825,951
課名	
【市街地整備課】	

単位施策 03 **安心して暮らせる住まいの確保を推進する**

主管課：建築住宅課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
暮らしている住まいに満足している人の割合（%）	75.5	76.4	77.8	77.3	改善
長期優良住宅の認定戸数（戸）	3,094	3,338	3,901	4,257	改善

成果指標動向

・「暮らしている住まいに満足している人の割合」は、対基準値では向上しているものの、対前年度比では0.5ポイント減少している。年代別では、16～29歳が全体よりも5ポイント程度高く、60～74歳が5ポイント程度低い。
・「長期優良住宅の認定戸数」は、令和6年度の563戸の認定に対し、令和7年度は356戸認定しており、対前年度比で認定戸数が207戸減少した。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
08-05-01	住宅耐震改修補助事業	8,701	8,701	
活動結果	1981年5月以前に建築された旧耐震基準の住宅の耐震改修工事費に対して補助した ・対象　旧耐震基準で建築した住宅所有者 ・戸建て住宅の補助限度額　1,150千円/件 ・実績　木造住宅　8件		決算の内訳（主なもの）	
			18節	8,701
			課名	
			【建築住宅課】	
08-05-01	空家等対策計画策定事業	6,063	6,061	
活動結果	2026年度に計画期間の10年目を迎える空家等対策計画について、市内の空家等の実態を把握するため調査した ・期間　2025．5～2026．3 ・内容　空家等実態調査一式		決算の内訳（主なもの）	
			12節	6,061
			課名	
			【建築住宅課】	
08-05-01	住宅除却補助事業	11,461	10,962	
活動結果	旧耐震木造住宅の除却工事費に対して補助した ・対象　旧耐震基準で建築した木造住宅の所有者 ・補助限度額　400千円 （緊急輸送道路及び狭あい道路沿い　500千円） ・実績　28件（うち緊急輸送道路等 10件）		決算の内訳（主なもの）	
			18節	10,962
			課名	
			【建築住宅課】	
08-05-01	勝山住宅排水設備改修事業	33,660	33,660	
活動結果	勝山住宅1号棟の排水設備（屋内・屋外）の改修を行った ・場所　荒尾町勝山地内 ・工期　2025．8．8～2026．1.30 ・内容　排水設備改修　50戸		決算の内訳（主なもの）	
			14節	33,660
			課名	
			【建築住宅課】	
08-05-01	住宅子育て世帯等補助事業	15,000	15,000	
活動結果	三世代で同居又は近居する子育て世帯に対し、住宅の新築、増築又は住宅購入に対して補助した ・対象　三世代で同居又は近居をする子育て世帯 ・補助額　800千円（同居）、300千円（近居） ・実績　45件（うち近居　42件）		決算の内訳（主なもの）	
			18節	15,000
			課名	
			【建築住宅課】	

めざすまちの姿　05　安心・安全で快適に暮らせる都市機能が充実している

分野　5　安心安全・都市基盤

施　策　20 安全で快適な移動環境の整備

主管課：土木建設課

■施策の目標

道路環境が整い、さまざまな公共交通機関を利用することで、安全で円滑に市内・市外へ移動できています。

■施策の基本方針

社会情勢や利用者のニーズに合わせた公共交通ネットワークの整備を計画的に進めます。
また、快適に移動しやすい道路を整備するとともに、道路施設の良好な状態を維持するため、長寿命化や耐震化などの適切な維持管理を推進します。

■施策実現の財源投入状況　（単位：千円）

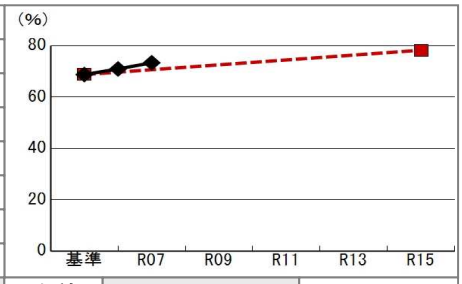
予算	R07年度	7,873,018	対前年比	74.9%	決算	R07年度	5,644,222	対前年比	74.7%
	R06年度	10,504,744				R06年度	7,554,665		

■まちづくり指標の推移

市内･市外へ円滑に移動できる環境が整っていると思う人の割合（%）

指標NO.0028　　【指標特性】上がると良い指標

基準値		68.7
R06実績		70.9
R07実績		73.3
R08実績		
R09実績		
R10実績		
めざそう値	R10	73.4
	R15	78.2



対基準値	改善	R15めざそう値達成率	+48.4%
対前年比	改善		

土木建設課

基準値		
R06実績		
R07実績		
R08実績		
R09実績		
R10実績		
めざそう値	R10	
	R15	

対基準値		R15めざそう値達成率	
対前年比			

■施策全体の評価　順調

指標動向

・「市内・市外へ円滑に移動できる環境が整っていると思う人の割合」は、基準値より4.6ポイント改善し、前年度より2.4ポイント改善している。年齢別では60～64歳の67.7ポイントを除き、基準値の68.7ポイントより改善している。学区別では横須賀学区、大田学区が市全体より10ポイント以上高く、富木島学区では10ポイント以上低くなっている。

施策全体評価の要因分析

・まちづくり指標は基準値より改善しており、公共交通や道路整備に関する成果指標もおおむね順調に推移していることから、施策全体として順調と評価する。
・加木屋中ノ池駅の完成や幹線道路の整備により、幅広い年代から評価を得ていると考える。
・計画的な道路整備や橋りょう等の日常的な点検により、劣化状況に応じた修繕を行うとともに、長寿命化を図ったことが順調な要因と考える。
・土地区画整理事業等の進展により移動環境整備が進められた大田及び横須賀学区の中央地域でのポイントが高い傾向にある。一方、主要地方道名古屋半田線で唯一4車線化されていない富木島学区等、道路整備の進展が無く慢性的な渋滞がみられる学区は基準値を下回り評価が低いと考える。
・公共交通では、循環バスの令和6年10月のダイヤ・ルート再編の実施や利用促進対策の実施、北部地区でのデマンド交通の実証実験を実施していることが順調な要因と考える。

今後の方針

・単位施策01「利便性の高い公共交通ネットワークを充実させる」については、循環バス利用促進対策及び利便性向上対策や待合環境整備とダイヤ・ルート改正に向けた調査などを実施し、公共交通の利便性の向上を図る。
・単位施策02「移動がしやすい道路をつくる」、単位施策03「道路施設の適切な維持管理を推進する」については、引き続き、優先順位の高い道路の新設や改良を進めながら、道路の適切な維持管理に努める。

単位施策 01 **利便性の高い公共交通ネットワークを充実させる**

主管課：都市計画課

評価
横ばい

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
らんらんバスの年間利用者数（人/年）	307,202	315,592	292,201	295,021	悪化
1日当たりの鉄道駅乗降客数（人/日）	48,566	51,189	52,780	54,289	改善

成果指標動向

・「らんらんバスの年間利用者数」は、基準値から12,181人(4.0%)低下しているものの、前年度から2,820人(1.0%)改善しており、R6年10月のダイヤ・ルート再編以降、利用者が減少したものの、徐々に回復傾向にある。
・「1日当たりの鉄道駅乗降客数」は、基準値から5,723人(11.8%)、前年度から1,509人(2.9%)改善しており、太田川駅及びR6年3月に開業した加木屋中ノ池駅の利用が大きな増加要因となっており、他の7駅の乗降客数は改善または横ばいとなっている。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
02-01-13	地域公共交通会議負担金	27,670	21,505	
活動結果	道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく会議として、持続可能な地域の公共交通体制の維持に向けた協議を年4回実施するとともに、デマンド交通実証実験等を実施した ・内容　デマンド交通実証実験(2024年10月1日～2027年3月31日)、バスの乗り方教室　6校		決算の内訳（主なもの）	
			18節	21,505
			課名	
			【都市計画課】	
02-01-13	循環バス運行事業	260,096	257,568	
活動結果	主要公共交通との連携及び地域間の移動交通手段の確保を目的として、5路線11系統(車両8台)で運行した ・内容　Webチケットの導入、ホームページ掲載用の英語版ガイドブックのデータ作成、のりものカードの作成、加木屋中ノ池駅南口のバス停新設に伴うダイヤ・ルート検討 ・循環バス利用者数　295,021人		決算の内訳（主なもの）	
			12節	4,169
			13節	677
			18節	252,160
			課名	
			【都市計画課】	
02-01-13	循環バス待合環境整備事業	12,803	12,803	
活動結果	快適に利用できる待合環境を整備するため、乗り継ぎが可能なバス停及び各路線で利用者の多いバス停に上屋・ベンチ等を設置した ・内容　循環バス待合環境整備工事 ・設置バス停　上屋・ベンチ1基(東海市消防署北出張所前) ベンチ10基(水深、アピタ荒尾店前、若宮、北鹿持、加木屋南小学校前、中ノ池六丁目)		決算の内訳（主なもの）	
			11節	33
			12節	935
			14節	11,835
			課名	
			【都市計画課】	
08-04-03	新駅周辺等整備事業	839,736	337,060	
活動結果	新駅及び駅周辺に必要な施設を設置するため、駅舎等の整備に必要な経費の名古屋鉄道㈱への負担や、高架下の自転車駐輪場及びトイレ等の整備を実施し、一部を翌年度に繰越した 場所　加木屋町唐畑始め3地内（西知多総合病院東） ・新駅設置事業工事負担金　・高架下等整備工事　等 (翌年度繰越額　488,258千円)(継続費翌年度繰越額　13,900千円)		決算の内訳（主なもの）	
			12節	7,464
			14節	106,713
			18節	222,132
			課名	
			【土木建設課】	
08-04-03	新駅周辺等整備事業（繰越明許費）	1,574,391	1,574,391	
活動結果	新駅及び駅周辺に必要な施設を設置するため、駅舎等の整備に必要な経費の名古屋鉄道㈱への負担や、公立西知多総合病院及び中ノ池地区アクセス通路、駅前広場の修正設計委託等を実施した 場所　加木屋町唐畑始め3地内（西知多総合病院東） ・新駅設置事業工事負担金　・アクセス通路整備工事　等 (前年度繰越額　1,574,391千円)		決算の内訳（主なもの）	
			12節	12,092
			14節	57,469
			18節	1,504,830
			課名	
			【土木建設課】	

単位施策 02 移動がしやすい道路をつくる

主管課：土木建設課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
幹線・補助幹線道路の整備率（%）	70.3	70.6	71.8	73.0	改善

成果指標動向

・「幹線・補助幹線道路の整備率」は基準値から2.7ポイント、また前年度から1.2ポイント改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
08-02-03	向山南北線始め１０路線道路改良事業	254,300	64,739	
活動結果	国道155号の4車線化整備に合わせ、補助幹線道路の整備を行うため、道路改良工事等を実施し、一部を翌年度に繰越した 場所　加木屋町御林始め2地内（大府市境付近） ・道路改良工事　工期　2025. 9.25～2026. 9.30 ・土地購入費　10筆　797.55㎡、物件移転補償費　1件　等 （翌年度繰越額　189,561千円）		決算の内訳（主なもの）	
			14節	24,077
			16節	27,290
			21節	9,273
			課名	
			【土木建設課】	
08-02-03	三ツ池線始め８路線道路改良事業	228,330	138,646	
活動結果	南加木屋駅周辺地区計画における道路及び駅前広場等を整備するため、道路改良工事を実施し、一部を翌年度に繰越した 場所　加木屋町西平子始め5地内(南加木屋駅周辺) ・道路改良工事　工期 2025.11.14～2026. 9.30 ・土地購入費　3筆　83.33㎡、物件移転補償費　1件　等 （翌年度繰越額　89,274千円）		決算の内訳（主なもの）	
			14節	59,238
			16節	9,800
			21節	68,074
			課名	
			【土木建設課】	
08-02-03	太田川駅前通り線道路改良事業	278,764	182,772	
活動結果	市道太田川駅前通り線の延伸整備をするため、道路改良工事等を実施し、一部を翌年度に繰越した 場所　大田町細田始め2町8地内（木田北部土地改良区内） ・道路改良工事　工期　2025. 7.10～2026. 3.27 ・土地購入費　2筆　114.09㎡、物件移転補償費 4件　等 （翌年度繰越額　74,448千円）		決算の内訳（主なもの）	
			12節	9,891
			14節	125,285
			21節	42,283
			課名	
			【土木建設課】	
08-02-03	西知多道路大田インターチェンジ１号線始め３路線道路新設事業	1,406,188	499,047	
活動結果	西知多道路大田インターチェンジ及び関連道路の整備を実施し、県負担金等の一部を翌年度に繰越した 場所　大田町川南新田始め2町3地内（大田インターチェンジ付近） ・道路改良工事　工期　2025.8.8～2026. 3.19 ・県負担金、公共施設管理者負担金　等 （翌年度繰越額　900,026千円）		決算の内訳（主なもの）	
			12節	1,600
			14節	71,555
			18節	425,892
			課名	
			【土木建設課】	
08-04-03	養父森岡線街路整備事業	62,066	14,935	
活動結果	幹線道路ネットワークの構築を図るため、鉄道の高架化に必要な経費の名古屋鉄道㈱への負担や、用地測量業務等を実施し、一部を翌年度に繰越した 場所　加木屋町鈴井田始め7地内（西知多総合病院東） ・鉄道高架事業工事負担金　・用地測量 A=2.65ha　等 （翌年度繰越額　46,900千円）		決算の内訳（主なもの）	
			13節	808
			14節	3,753
			18節	10,000
			課名	
			【土木建設課】	

単位施策 03 **道路施設の適切な維持管理を推進する**

主管課：土木維持課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
幹線・補助幹線道路の劣化割合（%）	10.3	10.6	10.3	10.2	改善
長寿命化した橋りょうの割合（%）	32.7	38.8	38.8	40.8	改善
耐震補強した橋りょうの割合（%）	44.9	44.9	46.9	49.0	改善

成果指標動向

・「幹線・補助幹線道路の劣化割合」は基準値及び前年度から0.1ポイント改善している。
・「長寿命化した橋りょうの割合」は基準値から8.1ポイント、また前年度から2.0ポイント改善している。
・「耐震補強した橋りょうの割合」は基準値から4.1ポイント、また前年度から2.1ポイント改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
08-02-02	中ノ池跨線橋維持補修事業	5,790	5,786
活動結果	道路橋長寿命化修繕計画に基づき、早期に補修が必要と判断された橋りょうの補修設計を実施した ・場所　中ノ池一丁目始め2地内（横須賀中学校南西） ・内容　橋りょう補修設計 L=16.7m ・工期　2025. 8. 6～2026. 3.30		決算の内訳（主なもの） 12節　5,786 課名 【土木維持課】
08-02-02	橋りょう定期点検事業	26,415	26,415
活動結果	道路法に基づき、橋りょうの適切な維持管理を行うため、定期点検を実施した ・道路橋点検業務　　三番割中橋始め24橋 ・横断歩道橋点検業務　記念碑前横断歩道橋始め2橋		決算の内訳（主なもの） 12節　25,356 18節　1,059 課名 【土木維持課】
08-02-02	名和駅北歩道橋維持補修事業	120,670	120,659
活動結果	道路橋長寿命化修繕計画に基づき、早期に補修が必要と判断された歩道橋を補修した ・場所　名和町二番割中始め2地内(名和北交差点西) ・内容　歩道橋維持工事　L=82m、塗装塗替工、橋梁補修工等 ・工期　2025. 7.30～2026. 3.30		決算の内訳（主なもの） 12節　4,389 14節　116,270 課名 【土木維持課】
08-02-02	小清水雉子野線維持補修事業	24,482	21,267
活動結果	路面性状調査(平坦性、ひび割れ)により、早期に修繕が必要と判断された道路を修繕した ・場所　加木屋町小清水始め2地内(中平地交差点西) ・内容　舗装工　A=2,240㎡ ・工期　2025.12.24～2026. 3.27		決算の内訳（主なもの） 14節　21,267 課名 【土木維持課】
08-02-02	路面下空洞対策事業	16,236	15,163
活動結果	道路陥没のリスクを未然に防止するため、空洞探査車による路面下空洞調査を実施した ・場所　市管理の緊急輸送道路 ・内容　路面下空洞調査 L=74.8km ・工期　2025. 7.30～2026. 3.30		決算の内訳（主なもの） 12節　15,163 課名 【土木維持課】

めざすまちの姿　05　安心・安全で快適に暮らせる都市機能が充実している

分野　5　安心安全・都市基盤

施　策　21 花と緑につつまれたまちの推進

主管課：花と緑の推進課

■施策の目標

公園・緑地の充実や花づくり・緑化活動の推進により、花と緑が豊かなまちになっています。

■施策の基本方針

市民の憩いの空間となるよう、花と緑につつまれた魅力ある公園や緑地の整備を推進するとともに、だれもが安心して、安全に公園や緑地を利用できるよう公園施設の長寿命化を進め、適切な維持管理に努めます。

また、市民、地域、団体、事業者などと連携しながら、市民などが自主的に花づくりや緑化活動に取り組める環境を整え、花や緑とふれあえるまちづくりを進めます。

■施策実現の財源投入状況　（単位：千円）

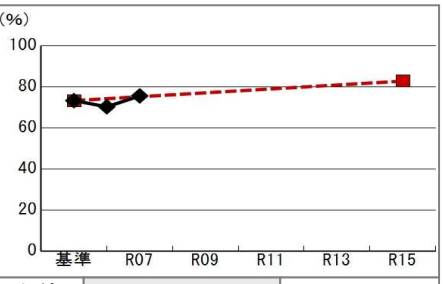
予算	R07年度	1,242,148	対前年比	97.8%	決算	R07年度	1,234,737	対前年比	99.5%
	R06年度	1,269,597				R06年度	1,240,686		

■まちづくり指標の推移

花や緑が豊かなまちであると思う人の割合（%）

指標NO.0029　【指標特性】上がると良い指標

基準値		73.2		基準値		
R06実績		70.2		R06実績		
R07実績		75.5		R07実績		
R08実績				R08実績		
R09実績				R09実績		
R10実績				R10実績		
めざそう値	R10	77.9		めざそう値	R10	
	R15	82.7			R15	
対基準値		改善	R15めざそう値達成率	対基準値		R15めざそう値達成率
対前年比		改善	+24.2%	対前年比		



花と緑の推進課

■施策全体の評価　順調

指標動向

・「花や緑が豊かなまちであると思う人の割合」は、基準値より2.3ポイント改善し、前年度より5.3ポイント改善している。年齢別では40～49歳の数値が高く、65～74歳の数値が低い傾向にある。職業別では主婦（家事専業）の数値が高く、無職の数値が低い傾向にある。学区別では渡内の数値が高く、富木島の数値が低い傾向にある。

施策全体評価の要因分析

・まちづくり指標は基準値及び前年度より改善しており、単位施策01「魅力ある公園・緑地整備」は順調、単位施策02「花と緑にあふれたまちの形成」も横ばいを維持していることから、施策全体として順調と評価する。
・単位施策01「魅力ある公園・緑地整備」が順調に進んでいるのは、老朽化した遊具や休憩施設の更新を計画的に実施し、安心・安全な公園づくりを着実に進めたことが要因と考える。
・単位施策02「花と緑にあふれたまちの形成」が横ばいに推移しているのは、花苗を育成する福祉団体やコミュニティの協力により花苗の配布株数が増加したことに加え、園芸専門家や樹木医の指導のもと、講習会や植栽会、ワークショップ等を積極的に開催したことにより、花のまちづくりや緑化活動に取り組む市民、地域、団体、事業者などが増えたことが要因であると考える。

今後の方針

・今後は、市民の憩いの空間となるよう、花と緑につつまれた魅力ある公園や緑地の整備を推進するとともに、だれもが安心して、安全に公園や緑地を利用できるよう公園施設の長寿命化を進め、適切な維持管理を継続していく。
・引き続き、市民、地域、団体、事業者などが自主的に花づくりや緑化活動に取り組めるきっかけづくりとして、講習会や植栽会、ワークショップ等を開催するとともに、花の苗や種子の配布、花壇づくりの資材の提供、生垣等緑化補助金の交付等の支援の充実に努めていく。

単位施策 01 **魅力ある公園・緑地整備を推進する**

主管課：花と緑の推進課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
長寿命化計画に基づき更新した公園施設の割合（%）	0	0	26.51	35.34	改善
一人当たりの公園面積（㎡/人）	11.06	11.61	11.61	11.62	改善

成果指標動向

・「長寿命化計画に基づき更新した公園施設の割合」は、基準値より35.34ポイント改善し、前年度より8.83ポイント改善している。
・「一人当たりの公園面積」は、基準値より0.56㎡/人改善し、前年度より0.01㎡/人改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
08-04-05	公園長寿命化事業	52,967	52,537	
活動結果	公園長寿命化計画に基づき公園施設を更新した ・場所　昇録公園等 ・内容　遊具等改修工事 ・工期　2025. 6.18～2026. 3.6		決算の内訳（主なもの）	
			14節	52,537
			課名	
			【花と緑の推進課】	
08-04-07	聚楽園公園整備事業	24,377	24,048	
活動結果	駐車場整備を進めるとともに、ヤカン池堤体の耐震性を確認した ・場所　荒尾町西廻間地内 ・内容　駐車場検討基本計画委託　一式 ヤカン池堤体耐震調査解析委託　一式 ・工期　2025. 8. 6～2026. 3.30		決算の内訳（主なもの）	
			12節	24,048
			課名	
			【花と緑の推進課】	
08-04-07	緑陽公園整備事業	65,757	64,706	
活動結果	防災機能を確保した公園を整備した ・場所　名和町地内(名和中学校東) ・内容　区域界測量委託　A=2,000㎡、トイレ設置工事　N=１箇所 ・工期　2025. 8. 6～2026. 3.27		決算の内訳（主なもの）	
			11節	111
			12節	5,016
			14節	59,579
			課名	
			【花と緑の推進課】	
08-04-07	中ノ池公園整備事業	24,572	24,572	
活動結果	崩れた池の護岸を改修した ・場所　中ノ池六丁目地内 ・内容　護岸改修工事 L=126m ・工期　2025.10.22～2026. 3. 6		決算の内訳（主なもの）	
			14節	24,572
			課名	
			【花と緑の推進課】	
08-04-07	大池公園整備事業	14,393	14,391	
活動結果	未整備区間の園路新設設計をした ・場所　中央町三丁目地内 ・内容　園路新設設計調査測量委託　L=230m ・工期　2025. 8. 6～2026. 3.13		決算の内訳（主なもの）	
			11節	124
			12節	14,267
			課名	
			【花と緑の推進課】	

単位施策 02 花と緑にあふれたまちを形成する

主管課：花と緑の推進課

評価
横ばい

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
地域で管理する花壇に植えた花苗の株数（株/年）	19,752	19,392	15,960	22,536	改善
花や緑を育てる、飾るなど、花や緑が身近にある生活を送っている人の割合（%）	59.0	55.7	55.7	57.0	悪化

成果指標動向

・「地域で管理する花壇に植えた花苗の株数」は、基準値より2,784株改善し、前年度より6,576株改善している。
・「花や緑を育てる、飾るなど、花や緑が身近にある生活を送っている人の割合」は、基準値より2.0ポイント低下しているが、前年度より1.3ポイント改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
08-04-06	松くい虫防除事業	12,576	12,576	
活動結果	市内に残る貴重な松を松くい虫被害から守るため、継続実施している予防薬剤樹幹注入に加え、被害木調査及び伐倒駆除を実施した。 ・予防薬剤樹幹注入　松54本　薬剤363本(上野台公園) ・被害木調査　一式（市内全域） ・被害木伐倒駆除　松98本（大池公園等）		決算の内訳（主なもの）	
			12節	12,576
			課名	
			【花と緑の推進課】	
08-04-06	建築物等緑化補助事業	2,125	1,625	
活動結果	緑化の推進及び良好な住環境づくりの促進のため建築物等の緑化に要する経費に対して補助した ・対象　市街化区域及び市街化調整区域内の既存集落内で行う屋上、壁面、空地、駐車場の緑化及び生垣設置 ・補助率　1/2 ・実績　1件(空地緑化 1件)		決算の内訳（主なもの）	
			18節	1,625
			課名	
			【花と緑の推進課】	
08-04-06	緑の基本計画策定事業	6,100	6,083	
活動結果	緑地の保全や緑化推進の目標など、緑の将来像と実現のための施策を示し、市民との協働で推進していくための指針となる計画を策定した ・策定時期　2025年度～2026年度 ・計画期間　2027年度からの10年間 ・策定の経過　緑の現況調査、課題整理、基本方針検討		決算の内訳（主なもの）	
			12節	6,083
			課名	
			【花と緑の推進課】	
08-04-06	さくら再生事業	3,150	3,091	
活動結果	大池公園のさくらの魅力を高め、次世代に引き継ぐため、樹木医の指導のもと、市民ワークショップによる樹勢回復促進作業及び植栽を行った ・場所　中央町三丁目地内(大池公園) ・時期　2025.10～2026. 3 ・内容　ワークショップ 4回、八重桜植栽 3本		決算の内訳（主なもの）	
			10節	99
			12節	2,992
			課名	
			【花と緑の推進課】	
08-04-06	ランの道植栽会開催事業	3,073	3,065	
活動結果	ランの道の魅力向上を図るため、シランの植栽帯幅を拡げ、植栽会とウォークラリーを開催した ・場所　大田町地内(太田川駅東歩道) ・時期　2025. 4～2025. 5 ・内容　植栽会、ウォークラリー		決算の内訳（主なもの）	
			7節	50
			10節	93
			12節	2,915
			課名	
			【花と緑の推進課】	

めざすまちの姿　05　安心・安全で快適に暮らせる都市機能が充実している

分野　5　安心安全・都市基盤

施　策　22 水道水の安定供給と汚水の適切な処理の推進

主管課：経営課

■施策の目標

上水道を安心して利用できるとともに、下水道により適切な汚水処理ができています。

■施策の基本方針

水道水を安定供給するため、管路の耐震適合率の向上及び水道施設の日常的な維持管理に取り組むとともに、汚水を適切に処理するため、汚水処理施設の計画的な整備や日常的な維持管理に取り組みます。

また、水道事業と下水道事業の健全な経営に努めます。

■施策実現の財源投入状況　（単位：千円）

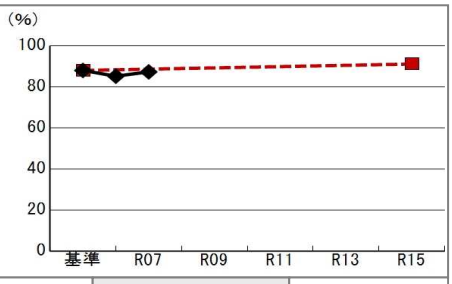
予算	R07年度	1,179,692	対前年比	108.3%	決算	R07年度	1,130,938	対前年比	108.8%
	R06年度	1,089,295				R06年度	1,039,061		

■まちづくり指標の推移

水道水を安心して利用できている人の割合（%）

指標NO.0030　【指標特性】上がると良い指標

基準値		87.9
R06実績		85.1
R07実績		87.2
R08実績		
R09実績		
R10実績		
めざそう値	R10	89.5
	R15	91



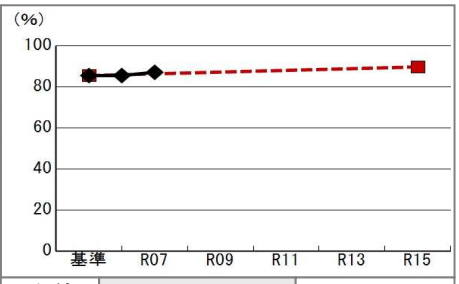
対基準値	悪化	R15めざそう値達成率	-22.6%
対前年比	改善		

水道課

汚水処理体制に安心感を持っている人の割合（%）

指標NO.0031　【指標特性】上がると良い指標

基準値		85.4
R06実績		85.4
R07実績		87.0
R08実績		
R09実績		
R10実績		
めざそう値	R10	87.5
	R15	89.6



対基準値	改善	R15めざそう値達成率	+38.1%
対前年比	改善		

下水道課

■施策全体の評価　順調

指標動向

・「水道水を安心して利用できている人の割合」は、基準値より0.7ポイント低下したものの前年度と比較して2.1ポイント改善した。
・「汚水処理体制に安心感を持っている人の割合」は、基準値、前年度ともに1.6ポイント改善した。
・両指標ともに、学生及び主婦（家事専業）は基準値より改善したが、30～39歳及び60～64歳の年代では前年度と比較して低下した。

施策全体評価の要因分析

・「水道水を安心して利用できている人の割合」は基準値を下回るものの前年度より改善し、「汚水処理体制に安心感を持っている人の割合」は基準値及び前年度より改善している。また、単位施策の成果指標も順調であることから、施策全体として順調と評価する。
・「水道水を安心して利用できている人の割合」が基準値より低下しているのは、過去の地震による断水や各地で発生している老朽管路の破損事故、有機フッ素化合物などの水質への懸念といった報道を受け、市民の意識の中に水道への不安が影響したと考える。
・「汚水処理体制に安心感を持っている人の割合」が改善しているのは、未整備地区への汚水管の整備が進んでいることなどが影響したと考える。

今後の方針

・市民が日常生活において水道水を安心して利用するため、基幹管路の耐震化をさらに進めていく。また、汚水の適切な処理を推進するため、汚水管の整備を計画的に進めていく。
・水道・下水道の整備状況や安心・安全に向けた取組への関心・理解が深まるように、広報やホームページによる周知だけでなく、各種媒体やイベントなど更なる啓発活動を実施し、ＰＲの充実を図り、市民の理解に繋げていく。

単位施策 01 水道水の安定供給を推進する

主管課：水道課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
基幹管路の耐震適合率（%）	60.4	61.2	61.8	62.4	改善
経常収支比率（水道事業）（%）	102.5	104.9	101.8	102.2	悪化

成果指標動向

・「基幹管路の耐震適合率」は、基準値から2.0ポイント改善し、前年度より0.6ポイント改善している。
・「経営収支比率（水道事業）」は、基準値から0.3ポイント低下し、前年度より0.4ポイント改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
04-01-01	水道事業会計補助金	77,890	74,452	
活動結果	水道事業における水道料金基本料金の減免に要する経費に対して補助をした ・水道料金基本料金の減免　74,451,850円		決算の内訳（主なもの）	
			18節	74,452
			課名	
			【生活環境課】	
04-02-01	専用水道審査事業	312	139	
活動結果	東海市専用水道施設等維持管理指導要領に基づく専用水道施設への立入調査を実施した ・立入調査補助業務　6カ所		決算の内訳（主なもの）	
			12節	139
			課名	
			【生活環境課】	

単位施策 02 **汚水の適切な処理を推進する**

主管課：下水道課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
汚水管の整備率（%）	82.8	85.2	85.4	85.8	改善
経常収支比率（下水道事業）（%）	94.0	93.9	94.0	95.0	改善

成果指標動向

・「汚水管の整備率」は、基準値から3.0ポイント改善し、前年度からも0.4ポイント改善した。
・「経常収支比率（下水道事業）」は、基準値から1.0ポイント改善し、前年度からも1.0ポイント改善した。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
08-04-01	下水道事業会計補助金	793,490	748,348	
活動結果	下水道事業の運営経費に対して補助した ・分流式下水道等に要する経費 724,251千円 ・高度処理に要する経費 11,293千円 ・水洗便所に係る改造命令等に関する事務に要する経費 6,119千円 ・その他 6,685千円		決算の内訳（主なもの）	
			18節	748,348
			課名	
			【都市計画課】	
08-04-01	下水道事業会計出資金	308,000	307,999	
活動結果	下水道建設改良工事等の整備促進のため出資した ・管渠整備分等（汚水・雨水） 283,554千円 （整備面積 6.9ha、人口普及率 87.7%） ・浄化センター分 18,167千円 ・雨水ポンプ場分 6,278千円		決算の内訳（主なもの）	
			23節	307,999
			課名	
			【都市計画課】	